

知の創造

ものづくりの大学発

▷19◁

■平凡な集落が実は…
千年を超えて持続してきた各地の集落・地域を採す「千年村プロジェクト」という取り組みに参加するようになり、もうすぐ半年ほどになります。「プロジェクト」は、建築や造園・ランドスケープなどを専門とする複数の専門家や大学研究室で構成されています。

まず、千年以上前の地名が記録されている場所から見当をつけず、もともとたまたま千年以上に記録

千年村の候補地で「千年続いている村を探しています」と尋ねると、ときに「そんな遺跡や文化財はないなあ」と答えられてしまいます。でもどこでもありそうな平凡な感じする集落が、実は千

■大きなギャップに興奮 一見した感じと、調べた結果との、大きなギャップに興奮したのは、群馬県伊勢崎市の蕪塚町にある千年村でした。その地区では農地が広がる落から遠く離れた生産性も比較的低い土地だったので

土居浩建設学科准教授

千年村を探しています



どい・ひろし 博士(学術・総合研究大学院大学)。ものづくりの大学建設学科准教授。2001年、大学開学時から着任。関心領域は、日常意識・文化的景観。

年村と認めうる地域であること、このプロジェクトがはじめて経験してきたことで

■歴史が隠れているかも
このプロジェクトに、二人の研究者として関わりつつ、一見、平凡な日常の景観なり意匠を読み解くことは、教育プログラムとしてもきわめて有益なものではないか、と感じています。私の研究室では、ゼミ生自身の地元を

とに、町内会の区切りが見直されました。この地区は単純に千年続いていたのではなく、土地利用はもちろんなく、土地利便はむしろ行政区域すら変えることをも選択する中で、続いていたのです。

太い道路沿いの、平凡と見直されたい。それがなにか言いたくない景観に目を奪われたままでは見えなかつたことが、千年村を探すと、浮かび上がってきたのです。

それが各自それぞれのテーマに取り組みと、「それなりに面白い歴史の経緯があるのですね」と、少しはポジティブに評価するようになりました。特に印象深かったのは、県内の自宅から通学していたゼミ生が、お盆の棚に飾る掛け軸を分析し、家の先祖を誰がどこで供養してきたのか、どう継承されてきたのか、その百年近くの忘れられた歴史を掘り起こした卒業論文。皆様の家にも、それぞれの歴史が隠れているかも知れませ

埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048・795・9161 FAX 048・653・9040
ikeizai@saitama-nd.co.jp